

甲斐の金山から

令和元年9月26日 第89号

博物館だより

国指定史跡・甲斐金山遺跡／湯之奥・中山金山 甲斐黄金村・湯之奥金山博物館報



台風も吹き飛ばし堂々の開幕!

第19回砂金掘り大会&第16回砂金甲子園!

多くのご参加の皆さま、裏方を支えてくれた博物館応援団の皆さま、それと館内外のスタッフ、たくさんの方のご支援をいただき盛り上がりました。

廃棄電子回路基板から再生される金について

—東京オリンピック開催まで1年となった夏の金価格高騰を受けて—

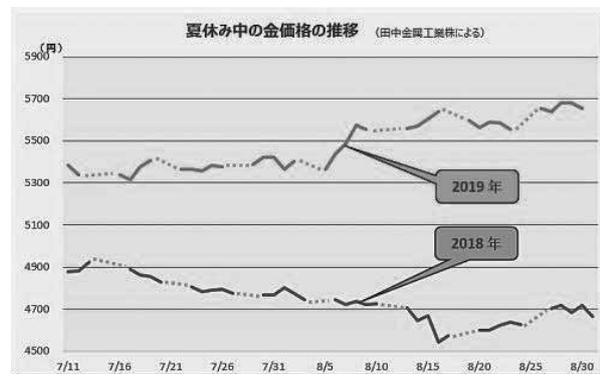
甲斐黄金村・湯之奥金山博物館 館長 出月洋文

2020年に東京でオリンピックが開催されるまで、この夏に残り1年を切って、様々に準備が急ピッチで進められているようすが報道などによって頻繁にもたらされるようになりました。そうしたこの夏、オリンピック東京大会とは関連がないのでしょうけど、金価格がたいへんな勢いで上昇しました。この金貨価格上昇は、当館にとって無関係ではありません。というよりとてもたいへんな関心事となっています。

右の挿図は、当館の二代目館長として日々のよしなし事を書きとめているブログ(URL: <https://plaza.rakuten.co.jp/bnvn06/>)の9月1日付けの記事に使用のグラフで、7月中旬から8月末までのいわゆる夏休み期間の1g当たりの金価格の状況について、当館がお世話になっている田中貴金属工業株式会社様のHP上で公開されている情報から、昨年と今年を対比させる形でオリジナルに作成したものです。

8月の終わり頃で比べると約千円の差が認められるのです。当館のミュージアムショップで、金1kgのインゴットのレプリカを扱っていますが、例えばその1kgというボリュームで考えると、昨年の今ごろ買っておいた1kgインゴットの金を、今、売却したならば約百万円もお小遣いが残るといふ計算になるのです。

当館では、歴史的な鉱山作業の一コマを体験的に理解していただくことをねらいとして砂金採り体験というメニューがサービスされています。3つの砂が敷き詰められた水槽に一定量の砂金が播かれていて、それを30分間、パン



ニングして採れた分だけお持ち帰りという内容です。これについてよく聞かれるのは、砂に混ぜてある砂金は、近くの川で採れたものを使っているのですか、という質問です。答えはNOで、東京銀座のきちんとした貴金属店さんから、指定の粒状に加工したものを納品していただいております、とご案内しています。仮に金の品位にばらつきがあったりしたら、同じ体験料を払っているのに、と結果に不満が出てしまい、もちませんから。

つまり博物館の予算化された運営費の一部を原資として、体験用の金を毎年必要量購入しているのです。だから、上のグラフで見ような金価格の上昇は、当館の運営上、看過できない問題なのです。

さて、そんな折に、これまたお世話になっている関東電気保安協会様からPR誌『電気と保安』の最新号が届き、目を通させてもらうと興味深い記事が見られました。それは「家電から五輪メダルへ変身／都市鉱山の金属回収プロジェクト達成感謝イベント開催」というタイトルの記事でありました。そのイベントとは「携帯電話、パソコン、デジタルカメラなど使用済

斑山金山遺跡見学会

6月22日(土)

今年度第一弾の遺跡見学会は、北杜市の斑山金山遺跡。前日の未明まで雨が強く降り、開催が危ぶまれましたが、天候回復し無事に開催することができました。

講師として現地でのご解説をいただいたのは、北杜市出身で北巨摩地域の文化財にお詳しい 釈迦堂遺跡博物館副館長の八巻與志夫先生。斑山金山を、独自に調査もしてきた八巻先生の興味深いご説明とご案内のもと、北杜市内の塩

川流域に点在する金山遺跡のうち、金山平金山と斑山金山の2か所で、坑道やズリ場見学することができました。

年齢層幅広く町県内外からご参加いただきましたが、熱心に八巻先生のお話に耳を傾け、皆さんの満足度の高い見学会となりました。

こうしたイベントをきっかけに、一人でも多くの皆さんに鉾山史や金山に対して少しでも興味・関心を持っていただきたいと思います。



塩川ダムによる人造湖「みずがき湖」湖畔のビジターセンター園内で気持ちの良い昼食時間。

夏休み自由研究プロジェクト2019inアイメッセ

7月15日(月・祝)



夏休み直前の海の日に開催された県内博物館美術館合同プレゼンに「セリ板で比重選鉱☆」

ミニゲームで参加した当館。初出展内容のため、最初のうちはスタッフも手探りでしたが、

多くの親子さんにご参加いただき大好評。昔の道具「セリ板」の刻み目に、重い金が本当に引っかかるのかを、砂に含まれた金に水を流して確かめる作業でしたが、兄弟や友達、親子でとペアで、作業に熱中していました。参加賞に博物館の特別割引しおりをプレゼント。割引券を持って後日、博物館へ来てくれた親子さんもたくさんおいでくださり、博物館PRにつながりました。

有料入館者41万人目達成

8月14日(水)

今年の8月は来館者数が4000人を越え大賑わいだった当館。夏真っ盛りお盆真っただ中のこの日、群馬県からお越しの高柳さんご家族が、当館の41万人目のお客様となりました。

年間2万人弱のご来館をいただく当館は、年に2回のペースでこのニュースをお届けしていますが、売店壁面の記念入館フレーム写真がまた一枚飾られることとなりました。高柳さんには、後日、特製金箔記念章をお送りさ

せていただきました。夏の思い出の一コマにとどまらず、来てくださったお客様が楽しみ、快適な滞在時間を過ごしていただけるよう、スタッフ一同、皆さまのご来館をお待ちしております。



今年の夏も大盛況!夏の大イベントの様子を写真でお届け!

国際周期表年2019 第11回化学実験教室

7月14日(日)

ロシアの化学者メンデレーエフが元素の周期律を発見して150年目。化学の世界では特別な年に、今年も「みやもん」こと開成中高の宮本一弘先生が、化学の不思議と魅力を分かりやすく教えてくださいました。



1時限目
水の上で動く紙&氷釣り



2時限目
冷却バックを作ろう&シャボン玉を浮かべよう



3時限目
酸とアルカリの実験

第19回砂金掘り大会(一般大会)

7月27日(土)

砂に混入した決められた数の砂金を、制限時間内に早く正確に落とさずパンニング! 第19回となる湯之奥金山博物館恒例の砂金掘り大会。前日の午前中は熱帯低気圧だったものが、

お昼前に台風6号に変身、あわや直撃!?!の心配をぎりぎり吹き飛ばした印象の今年の大会。全国から194名の皆さんが参加くださいました。



大会1時間前ミーティング。早朝からの準備を、協力して進めていただきました。最終打ち合わせです。



博物館テント下での公式大会。集ってくれた皆さんに、深沢生涯学習課長の挨拶と激励の言葉が向けられました。





ジュニア部門81人の頂点にたったのは、兵庫から参加してくれた大森俊英君(中2) ジュニア部門(左)、男女一般部門(右)の1・2・3位の表彰。総合優勝を決める頂上決戦は、近藤さんと大森君の一騎打ち! 今回の頂点を極めたのは近藤直美さん(富士市)。皆さん、おめでとうございます!

総合優勝：近藤直美

男女一般部門 1位：近藤直美(富士市)、2位：紙中緑香(東京都)、3位：魚住さやか(東京都)

ジュニア部門 1位：大森俊英(兵庫県)、2位：栗山風花(東京都)、3位：河野聡太(兵庫県)

フラットパン部門 : 中山元昭(山梨県)

マイパンニング皿部門：野村敏郎(兵庫県)

(敬称略)

第16回 砂金甲子園! 東西中高交流砂金掘り大会

7月28日(日)

2年ぶり開催の砂金甲子園。参加中高生の人数なんと約160人超。台風騒ぎもすでに過去、朝から強い日差しが照り付ける一日となりました。

全員参加の団体戦から、白熱化する個人戦

へ。ラストの大將戦では、順位逆転もあり得る状況に。前年王者灘が逃げ切るか、もしくは各校の追い上げがあるか!? 10校中8校がパーフェクトというハイレベルな戦いを制したのは、桐朋! 逆転優勝となりました。



本部集計、そしてフネの配置・手配など諸々迅速なのは応援団と博物館OBパワーが大きい! 本当にありがとうございました。

約2時間の激戦の頂上に立った桐朋学園。4年

ぶりに優勝に振り返り3回目の優勝を勝ち取りました。初参加の逗子開成、明大中野も大健闘。OBで結成された東京大学チームは特別オープン参加! 大いに楽しみ盛り上がりました!

優勝：桐朋(東京都)

準優勝：灘(兵庫県)

第3位：逗子開成(神奈川県)

4位：大妻

5位：山梨学院

6位：開成

7位：峡南高校

8位：明大中野

9位：麻布

第19回 こども金山探険隊

8月11日(日・祝)～12日(月)



大人気イベントの探険隊、今年も50人を越えるこども隊員とその保護者の皆さん、応援団や醍醐山を愛する会等々の支援スタッフのサポートをいただき、中山金山遺跡へ赴きました。

下山時には、無理のない範囲でのゴミ拾い。割れたビール瓶やビニールゴミなど大量のご

みを回収。登山道周辺はかなりきれいになりました。

遺跡見学、甲州金作りと内容盛りだくさんの2日間のプログラムを終え、参加者の皆さん大満足というご意見をいただきました。来年もお楽しみに。



—ゴールド&プラチナカンファレンス2019—

8月24日(土)

会場は東京・霞ヶ関、「黄金の町」として当館ともん父さんがPRキャラとしてお呼ばれし、身延町と博物館をPRして参りました。菱刈金山で有名な鹿児島県伊佐市からは、ゆるキャラ界のレジェンド的存在「イーサキング」が参加。キング様との共演も3年目！



みのぶ町民ウィーク

9月8日(日)～14日(土)

今年も一週間「町民ウィーク」を実施。地元のデイサービスをご利用の皆様がおいでくださり、館長やスタッフの館内案内に大変満足いただき、じっくり楽しんでいただけただご様子でした。



[これからの行事予定①]

11月30日(土)「LED松ぼっくり工作教室」

お待ちかね、今回の「久間先生のものづくり教室」第2弾はクリスマスシーズンにぴったり。ふっと息を吹きかけたら、光がゆらめく!?まるでローソクみたいなLED仕掛けのロマンティックな松ぼっくりツリーを作ろう!

※半田ゴテを使用するので、低学年のお子様ご希望される場合は保護者同伴をお願いいたします。

- ◆日時 令和元年11月30日(土) 13:30~15:30
- ◆講師 久間英樹先生(松江工業高等専門学校教授)
- ◆場所 湯之奥金山博物館多目的ホール
- ◆定員 8名迄 ※定員になり次第締切ります。
- ◆対象 小学4年生以上(半田ゴテを使用します)



[これからの行事予定②]

12月7日(土)「じえる♥キャンドル作り」

透明ジェルとカラーサンドを使ってお子様から大人まで簡単にできちゃう『オリジナル♡じえるキャンドルづくり体験教室』。経験者もそうでない人も、お気軽にご参加ください。キャンドルに入りたい小物がある人は持ってきてね。これでさらにオリジナリティ倍増間違いなし!

※ジェルワックスが解ける90度に耐えられる小物に限ります。

- ◆日時 令和元年12月7日(土) 13:30~15:00
- ◆場所 湯之奥金山博物館多目的ホール
- ◆定員 10名迄 ※定員になり次第締切ります。
- ◆対象 小学3年生以上~広く一般
- ◆参加費 500円(材料費として)



[これからの行事予定③]

遺跡見学会第2弾 栃代金山遺跡

これからの季節にかけて遺跡見学会を予定しています。日時、詳細などが確定し次第、博物館HPでお知らせします。

もーん父さん活動予定★『世界キャラクターさみっとin羽生2019』

令和元年11月23日(土)~24(日) 於 埼玉県羽生水郷公園

日ごろから、地域の活性に取り組んでいるご当地キャラクターが埼玉県羽生市に集結して、それぞれの地元の魅力を発信する国内最大級のキャラクターイベント『世界キャラクターさみっとin羽生』。毎年20万人以上の来場者を記録するこのイベントに、もーん父さんも参加して、湯之奥金山博物館と身延町の魅力を、広く広くPRして参ります!



編集後記

すっかり秋の気配が漂っています。紙面足りずご紹介しきれないほど暑かった夏…。今号は写真を中心にした夏イベントの様子と、これからの秋から冬にかけての予定イベントのお知らせを中心にお届けしました。さて、あとひと月もすれば、冬支度を気にする季節がやってきますが、今はちょうど座学やアウトドア講座にはうってつけの季節。これから色づくであろう山々の紅葉を楽しみながら博物館へお運びください。

博物館だより

第89号 令和元年9月26日

〒409-2947 山梨県南巨摩郡身延町上之平1787番地先

TEL 0556-36-0015 FAX 0556-36-0003

博物館HPアドレス <https://www.town.minobu.lg.jp/kinzan/>

博物館Eメール yunoking@town.minobu.lg.jp もーん父さん  